

令和 8 年度かながわ脱炭素推進会議事業計画及び収支予算

1 事業計画

(1) かながわ脱炭素共創プラットフォームによるプロジェクト

ア テーマ

- 次世代型太陽電池の早期社会実装に向けた取組

イ 目的

- 次世代型太陽電池の早期社会実装に向けて、令和 9 年度の量産化を見据え、今から地域の需要創出に向けて準備を進めることが重要であるため、昨年度に引き続き、企業、大学、自治体、金融、団体・県民など産学官金民が参画する本推進会議のプロジェクトテーマとして設定し、オール神奈川で取り組む。
- 令和 7 年度においては、県連携協定先や県内市町村、需要家、金融機関等で構成されたプロジェクトメンバーにおいて、次世代型太陽電池を実装する際に生じる課題や主体的な取組の検討を行った。
- 令和 8 年度は、早期社会実装をさらに加速化させていくため、次の段階として、幅広く県内全域の需要家等に対して、先行して得た知見を積極的に共有するとともに、需要創出に向けて開発メーカー等との連携を推進することで、量産化後に県内全域でスムーズに導入が進む「ペロブスカイト Ready」な社会構築により一層取り組む。

ウ 取組内容（予定）(1) 第 1 回プロジェクト会議

- 次世代型太陽電池の実証結果等の報告 等

(2) 「かながわ次世代型太陽電池シンポジウム（仮）」（第 2 回プロジェクト会議）

- 量産化後に県内全域でスムーズに導入を進めるため、次世代型太陽電池の開発メーカーと、施工事業者や次世代型太陽電池の設置を検討する企業（需要家）との橋渡し等を行う。

名称	かながわ次世代型太陽電池シンポジウム（仮）
参加者	令和 7 年度プロジェクトメンバー、県連携協定先、次世代型太陽電池の開発メーカー、施工事業者、需要家、県内市町村、環境省 等
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の取組状況（次世代型太陽電池の実証、県有施設への先行導入、次世代型タンデム太陽電池の実証）等の報告 ・ 県連携協定先や開発メーカー等による取組の発表 ・ 国の計画や支援施策等の説明 等 ※ シンポジウム終了後、名刺交換や座談会の時間を設ける

エ プロジェクトメンバー

- 令和7年度プロジェクトメンバー、推進会議運営委員、共創プラットフォーム参画団体、県内各市町村等から、関係する企業・団体等に対しても募集を行うこととする。

オ プロジェクト会議の概要（スケジュール）（予定）

日程	内容	対象
7～8月	○ 第1回プロジェクト会議【対面とオンライン併用】 ・ 次世代型太陽電池の実証結果報告 等	PJメンバー
10～12月	○ かながわ次世代型太陽電池シンポジウム （第2回プロジェクト会議）【対面とオンライン併用】 ・ 県の取組状況の報告 ・ 県連携協定先や開発メーカー等による取組の発表 ・ 国の計画や支援施策等の説明 等 ※ シンポジウム終了後、名刺交換・座談会の実施	PJメンバー 及び、ウに 記載の対象 事業者

※必要に応じて、第3回プロジェクト会議の開催を検討。

(2) かながわ脱炭素通信

- 令和6年度から開始した県や市町村のイベント、補助制度の周知、あるいは企業や団体の取組の紹介等について、令和7年度は211件の情報を発信できており、一定の情報共有ができていることから、継続して実施することとしたい。

2 収支予算

1 収入の部

(単位 円)

科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	差 異 (A-B)	備 考
負 担 金	980,000	980,000	0	県負担金
雑 収 入	5	5	0	預金利息
前年度繰越金	255,360	325,130	△ 69,770	
計	1,235,365	1,305,135	△ 69,770	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	差 異 (A-B)	備 考
推進会議運営費	50,000	50,000	0	
運営委員会等開催	50,000	50,000	0	脱炭素推進会議開催経費
かながわ脱炭素共創プラットフォーム事業費	1,000,000	1,000,000	0	
プロジェクト運営費	1,000,000	1,000,000	0	プロジェクト運営委託料等
予 備 費	185,365	255,135	△ 69,770	
計	1,235,365	1,305,135	△ 69,770	